

皮膚科では、「かかりつけ医」をご紹介します。

市立豊中病院は、急性期病院として地域の診療所や他の病院では対処できないような病状で、手術・入院を必要とする患者様や難しい疾患を主に治療する役割を担っています。

当院皮膚科では、がん診療連携拠点病院として皮膚がんの治療も積極的に行っています。



当院に受診している患者様で、病状が安定し地域の診療所などによる診療が可能と判断した場合には、「かかりつけ医」をご紹介します。

- ①主に外用、投薬にて経過を見ている患者様の確認・治療は、対応可能な「かかりつけ医」をご紹介します。
- ②手術後の処置も対応可能な場合は、「かかりつけ医」をご紹介します。
- ③当院皮膚科に通院中の患者様でも、かぶれ・水虫等の本来の病状とは関連のない場合は、「かかりつけ医」での治療をお勧めしています。

「かかりつけ医」にかかることにより、病気につながる生活習慣の改善に対するアドバイスも受けることができ、通院時間や診察の待ち時間が短くなり、身体への負担が減少します。

いざと言う時には、みなさんに信頼してお越しいただけるよう、今後とも地域の急性期病院として医療機能の充実に努めてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

※ かかりつけ医・・・日頃から患者様の体質や病歴、健康状態を把握し、診療行為のほか健康管理上のアドバイスなどしてくれる身近な医師のことで、いざと言うときには専門病院への紹介もしてくれます。